

親子で考えよう

わくわく家庭学習 実践編

～中学校～

～育てよう！集中する力～

ほんの少しの意識改革
学びの積み重ねができてきました！

テレビのニュースを毎日の食卓の話題にしました。親子で会話する中で、疑問に思ったことは、すぐに辞書やインターネットで調べてみるようにしました。この取り組みが社会の新聞づくりをするときの大きな助けとなりました。

また、スケジュール表を活用し、勉強時間と休憩時間を決めて取り組むことで、学習にメリハリができました。それを毎日同じルーティンとして継続する中で、学びの積み重ねができていると実感しています。ほんの少し意識を変え、生活を見直してみると意外な効果が見えました。

【リーフレットの実践（中学2年生徒）より抜粋】

家庭学習を通して、楽しみながら、子どもの「夢中になって学ぶ力」を育てていきましょう。夢中になることが集中力につながり、生涯にわたって学び続ける土台になります。

藤枝市教育委員会

「話す 聞く 書く 読む」は、すべての教科の土台となります。基礎編では、使える漢字や語句を増やし、その定着を図ります。発展編では、文の構成や様々な条件を踏まえた書く力を伸ばします。

- 音読・・・情景や気持ち等が、聞き手に伝わるように読もう。
- 文字・・・とめ、はね、はらいや書き順に気を付けて丁寧に書こう。
- 読書・・・幅広い分野の本を読もう。

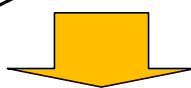
◎漢字や語句を増やそう。

- ・ やって終わりではなく、覚えて終わるようにしよう。
- ・ ふり仮名を先に書いておき、その後で漢字を書くようにしよう。
- ・ 漢字の意味を考えながら書き、分からないものは辞書を使って調べよう。

めん	せき	せい	めい	せき
面積	成績	感謝	個性	的補足的
しょうかい	ほうたい	ききたいき	ほか	せい
紹介招待機大器測る成績				
せい	せき	せい	せき	ほうたい
成績	成績	補足的	補足的	招待

- 「〇〇的という言葉を集めてみよう」

- ・言葉の意味や使い方を調べよう
- ・実際に使う場面を考えてみよう



『補足的』を・・・
 補てみるのと付けたら、補足的に補う
 べと…充的
 調な葉の発表内容に、補足的に
 で分言例どを加えさせてもいい
 書十た用ほ明
 辞不似使先説

- ・家庭でも、学習した語句を意図的に使ったり、新聞やニュース等を話題にしながら、聞き手（相手）に伝わる表現を意識して取り組んでみましょう。

発展編

○作文・・・「結論を先に伝え、その理由を述べる」等、文の構成を意識して書こう。

《こんな工夫ができるといいね》

◎自分の考えや根拠となる理由を簡潔に記述することや学習した語句・文の構成を生かして文章を書いていこう。継続していくことが大切です。

・予定帳「一日を振り返って」

一日を振り返って
ついに、合唱コンクールが、終わりました。残念ながら、賞は、取れませんでした。それが分かった瞬間、全身から力が抜けたような気がしました。なぜなら、この月9. この一曲のために、クラス仲間と3ヵ月間、全力で取り組んできたからです。賞は取れなかったけれど、思い出となりました。

・原稿用紙を用いた作文

物を古びたグロリーブです。決してきれいとはいえないそのグロリーブがなぜ宝物なのか、その理由は三点あります。
まず一点目は、そのグロリーブは七十年前、祖父が買ってくれたものだからです。昔、野球少年だった祖父は、孫のわたしがソフト部に入学したとき、周りが止めるのを聞かず、すぐにスポーツ店にいき、勝手に自分ですぐにグロリーブを買ってしまいました。

比喩的な表現や「なぜなら～、です」などを意識して使っています。「●分」と時間を設定して書くのもいいね。



ポイント

字数制限の中、伝えたいことを先に述べ、その理由を一点目などと明確にして書いています。

書き出しの一文で何を伝えたいのか、読み手を意識した投げかけがされています。

○次の視点で文章を読んでいただくと作文のよさが分かります。

- ・伝えたいことが明確になっている。
- ・相手に伝えるための工夫がされている。

社会

基礎編では、学習した重要な用語等をまとめます。
発展編では、データや表、グラフ等と関連付けたり、全体のつながりを説明したりする力を伸ばします。

基礎編

<学習の進め方>

- ①授業でやった内容をノート等で振り返ろう。
- ②学習内容が身についているか確かめよう。
 - ・出来事の果たした役割や重要な用語の意味を説明しよう。
 - ・白地図に地域の特徴を書き込み、位置関係や内容をまとめよう。
 - ・人物や出来事を矢印で結んで因果関係や時代背景をまとめよう。
 - ・時代の流れをつかむために、年表を作ってみよう。

《こんな復習をすると力がつくよ》

◎重要な出来事や用語をまとめたり、教科の言葉を使って説明しよう。

平城京 ... 710年 奈良につくられる。(唐の都長安が手本)
基礎の目状

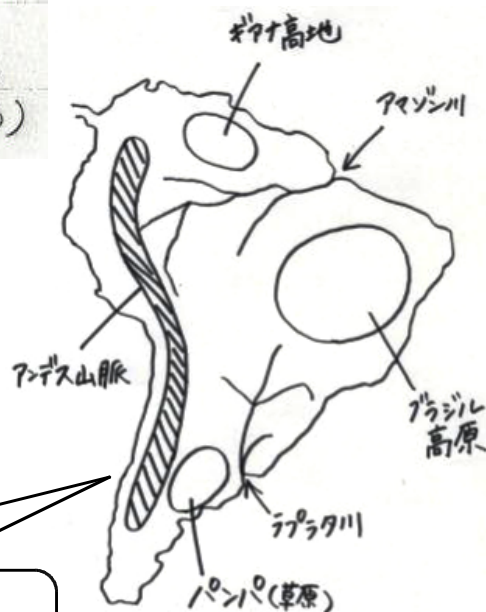
この都を中心に政治が行われた
時代を奈良時代という。

東大寺 ... 聖武天皇 (仏教の力で国家を守ろうとした)

東大寺を建てる → 大仏
正倉院
(シルクロードの伝えた
美術工芸品)

重要な用語をポイントを絞り、コンパクトにまとめています。

ノートに付箋を貼って、大事な用語を確認することもいいよ。



- ・白地図を利用して、全体の様子をつかもう。
- ・自分で山脈、川の名前などを書き足してみよう。

・親子でクイズ形式にして確認したり、地球儀や地図、年表を見て確認したりすると、一緒に過ごす時間にもなりますね。

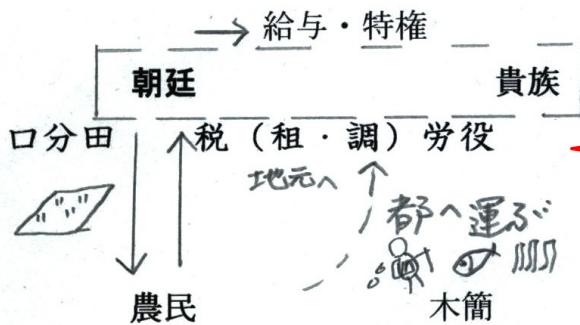
 発展編

- キーワードや矢印等を用いたり、単元全体を振り返ったりしてまとめてみよう。
- 今、学んでいることがどのように実社会とつながるか考えてみよう。

《こんな工夫ができるといいね》

◎教科書の「学習のまとめ」を参考にしながら、矢印等を用いて関係性が分かるようにまとめよう。

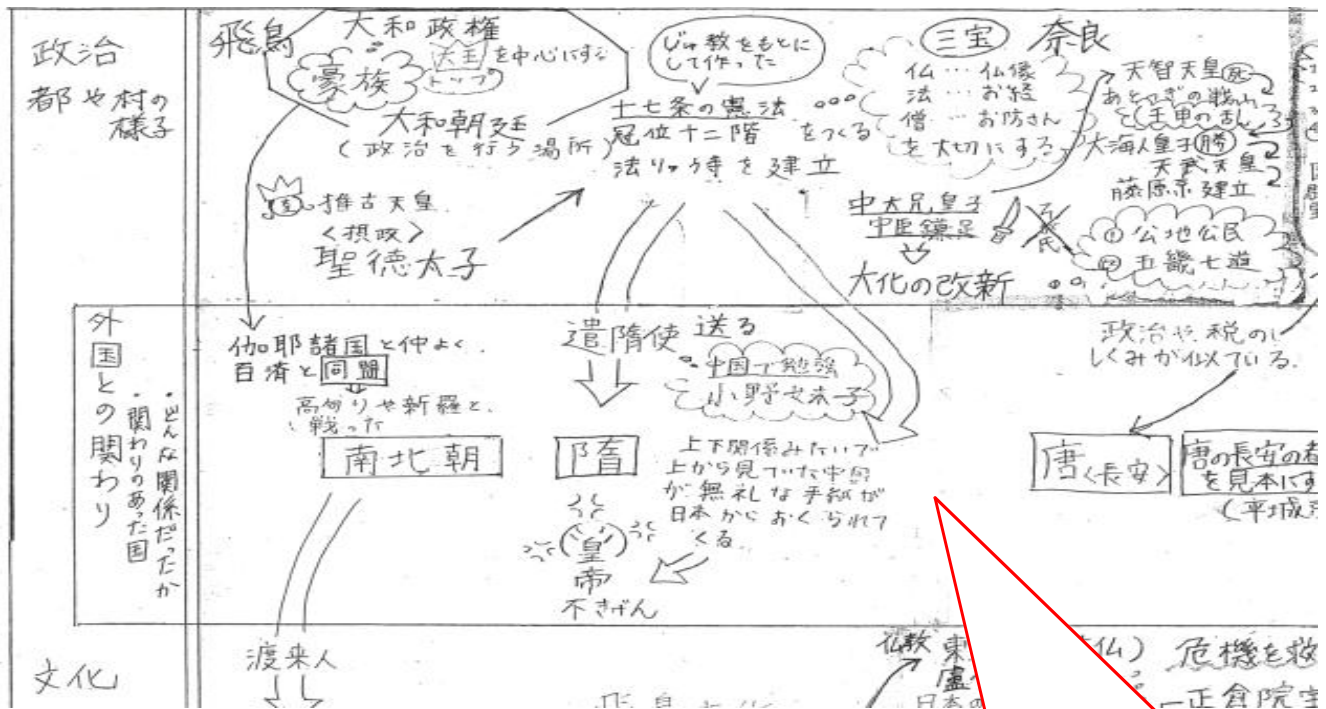
・奈良時代の「朝廷、貴族、農民」の関係



ポイント

- ・ 簡単なイラストや矢印を使ってものの流れなどを表している。

・テーマ：日本が中国に関わり続けたことで、どのような変化があっただろう。



ポイント

- ・縦軸（政治や文化）と横軸（時代）を設定し、関係性をはっきりさせ、多面的な視点からまとめられている。

- グラフや表がどんな情報を伝えているか考えたり、物事のつながりを確認したり、今社会で起きている出来事を親子で話してみましよう。

数 学

基礎編では、計算や図形等の基本的な力の定着を図ります。発展編では、基礎編を基に、それらを活用して、他の問題でも生かせる一般化や思考の過程への理解を深めます。

基礎編

<学習の進め方>

- ①授業でやった内容をノート等で振り返ろう。
- ②学習内容が身についているか確かめよう。
 - ・色々な種類の問題に挑戦してみよう。
 - ・間違えた問題や理解できていなかった問題を解答や解説を見て、正答を導き出すまでの過程を理解しよう。
 - ・ノートに自分が間違えた問題を抜き出して、もう一度やってみよう。
 - ・答えの導き方が何通りあるか考えてみよう。

《こんな復習をすると力がつくよ》

- ◎色々な種類の問題に挑戦し、間違えた部分は、やり直して理解しよう。
- ・同じような種類の問題や自分が苦手とする問題に挑戦する。
 - ・制限時間を設定したり、かかった時間を計ったりして、時間を意識しながら、正確にできるように練習を重ねる。

Handwritten calculation of the expression $-\frac{5}{4} + 3 - (-2\frac{1}{3}) + (-0.25) - \frac{5}{6}$. The steps are as follows:

$$\begin{aligned} &= -\frac{5}{4} + 3 - (-\frac{7}{3}) + (-\frac{1}{4}) - \frac{5}{6} \\ &= -\frac{5}{4} + 3 + \frac{7}{3} - \frac{1}{4} - \frac{5}{6} \\ &= 3 + \frac{7}{3} - \frac{5}{4} - \frac{1}{4} - \frac{5}{6} \\ &= \frac{36}{12} + \frac{28}{12} - \frac{15}{12} - \frac{3}{12} - \frac{10}{12} \\ &= \frac{64}{12} - \frac{28}{12} \\ &= \frac{36}{12} \\ &= 3 \end{aligned}$$

Points (ポイント):

- ① 分数(仮分数)にする
- ② 加法に直す
項だけの式にする
- ③ + と - に分ける
- ④ 通分して計算する

解答の手順をポイント①②…と、分かりやすくまとめています。

Handwritten calculation of $3 - 2 \times (-4)$. The student initially writes $= 1 \times (-4) = -4$, but then corrects it to $= 3 - (-8) = 3 + 8 = 11$.

自分が間違えた部分に線を引き、正しい解き方との違いを明らかにしています。

- ・自分がつまづいたポイントへの対処を明確にすることが、次、同じような問題に出会った時に克服できる力となり、確かな学力の育成につながります。類似問題に取り組むことが重要です。

発展編

- 同じ問題を何通りの考え方（過程）で解けるか考えてみたり、具体的な例から一般化したりして説明する。
- 類題を解く時にも役立つよう、どのように考えたのか、その思考過程への理解を深める。

《こんな工夫ができるといいね》

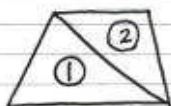
- ◎ 正答を求める過程に着目し、言葉で説明してみよう。また、他の例にも使える法則を見つけ出し、理解を深めよう。

<授業で学習したことをまとめよう!!>

多角形の内角の和を求めよう。
 n 角形の内角の和は何度になるのだろう？

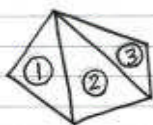
<考え方>：多角形の中にいくつの三角形ができるか考えれば良い！

→ 例えば...



四角形ならば左の図のように 2 つの三角形
 できるので、

$$180 \times \underline{2} = 360$$



五角形ならば、三角形が 3 つできるので、

$$180 \times \underline{3} = 540$$

⋮



n 角形だと、三角形が $n-2$ 個 できるので、

$$180 \times \underline{(\text{三角形の数})}$$

$$= 180 \times \underline{(n-2)}$$

だから、多角形の内角の和は、

$$180 \times (n-2)$$

を求める!!!



ポイント

どのように考えていけばよいのか、そのポイントが、明記されています



ポイント

この法則を基に、他の多角形で確認したり、内角でなく、外角ではどのようなことが言えるのか考えたりしていくことで、図形に対する理解が更に深まります。

- ・ なぜ、そのような考え方になるのかを押さえることで、初めて出会う問題であっても解決の糸口を見つけていける対応力が伸びていきます。

理 科

基礎編では、観察・実験における重要語句を再確認します。発展編では、学習した内容を振り返ったり、関連させたりしながらまとめよう。

基礎編

<学習の進め方>

- ①授業でやった内容をノート等で振り返ろう。
- ②学習内容が身についているか確かめよう。
 - ・重要な用語の意味を説明しよう。
 - ・実験、観察の手順や何のためにその実験器具を使うのか等を確認めよう。
 - ・結果だけでなく、なぜそうなったのか等の考察を大切にしよう。

《こんな復習をすると力がつくよ》

- ◎「説明から用語を導き出すこと」と「用語の意味を説明すること」の双方向で理解を深めよう。

電流の流れる道すじが一つの輪になるつなぎ方 → 直列つなぎ

直列つなぎ → 電流の流れる道すじが一つの輪になるつなぎ方

- ◎ 単元テスト等の結果を自分なりに振り返り、次に生かそう。

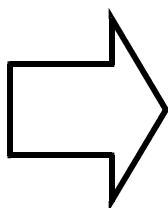
<振り返り>

1 自分の間違い

「燃やすと重くなった」と回答
実験における変化や違いが、
具体的に書けなかった。

2 今後の学習ポイント

模範解答をもとに、どの言葉が、ポイントとなるのか確認し、色ペンでマークする。模範解答の説明の仕方をまねして書く。



比較実験においては、変わっている実験の条件や測定結果を明確にする。

理由を記述する際には、単に燃やすと重くなった」という表現ではなく、何がどのように変化したのか、実験前後の状態の変化を「実験前の物質の質量は 10 g だったけれど、実験後の質量は、5 g に変化した。

この変化は、燃燃することで、酸素と化合し質量が増えたことが考えられる。」のように書く。

- ・身の周りで理科に関わる事象を探して話題にしたり、使われている単位(g、ml など)やその関係性(mg、g、kg など)について、実物を見たりして考えてみよう。

発展編

- 単元終了時に、単元全体を振り返って、学習内容をまとめてみよう。
- 身の回りで生かされているもの、関連したものを探してみよう。
- 学習した内容を生かして、更に興味・関心の範囲を広げてみよう。

《こんな工夫ができるといいね》

◎単元終了後、教科書の図などを用いて、学習内容をまとめよう。



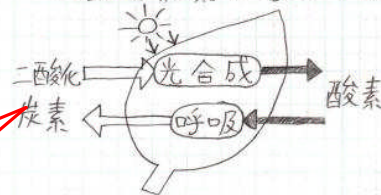
ポイント

昼と夜の違いなど、変化に着目しています。イラストを用いて説明することで、その仕組みがより明確に分かります

植物の光合成

☐

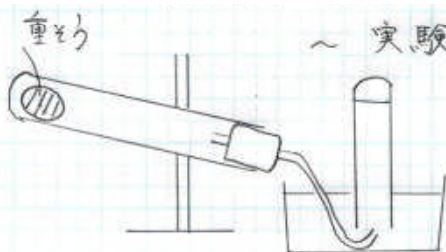
植物は日光が当たって光合成をすると、二酸化炭素を吸って酸素を出します。



また呼吸もしています。昼は、呼吸よりも光合成の方が多く行われています。

☐

日光が当たらないため、光合成をすることができないため、夜は光合成よりも呼吸の方が多く行われています。



～実験～

試薬

- ・重そう
- ・フェーリング試液
- ・塩化コバルト紙
- ・石灰水

- ・試験管を口をむけて（口を下に）
- ・加熱をやめる前に水から管を抜く
- ・乾いた試験管を使う

実験器具

- ・ガスバーナー
- ・マッチ、お盆
- ・フランプ
- ・試験管
- ・ガス管
- ・水そう
- ・ろ紙
- ・綿番
- ・防護メガネ

試験管を口をむける理由は、もし水が出たとしても、まっすぐだとその水が重そうのすぐく熱い部分に落ちてしまうからだね



ポイント

実験の手順や使用器具等の使い方について、ポイントを絞り、分かりやすくまとめています

- ・授業や家庭の枠にとどまらず、図鑑やインターネット等で関連するものを一緒に調べたり、広く世界や未来に目を向けていくことで、子どもの興味・関心も広がります。

英 語

「聞くこと 話すこと 読むこと 書くこと」の4技能の育成をめざします。基礎編では、英語に触れる機会を増やすとともに、基本文や単語の定着をめざします。発展編では、基礎編で身につけた内容を使って表現を磨きます。

基礎編

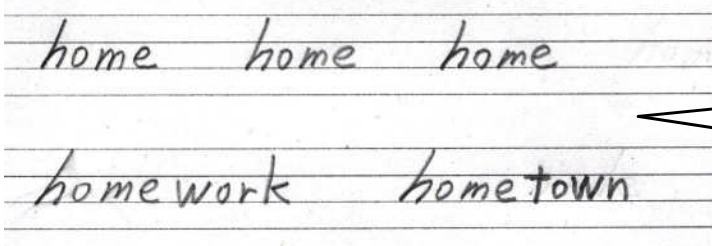
<学習の進め方>

- ① 授業でやった内容をノート等で振り返ろう。
- ② 学習内容が身についているか確かめよう。
 - ・ 習った単語や基本文を覚えるまで何度も書いてみよう。
 - ・ 意味や訳、例などを添えていこう。
 - ・ 単語や英文を書く時には、英語を発音しながら書いてみよう。
 - ・ 問題集等で自分の定着状況を確認し、間違えた問題については、正解を書くと同時にマーカーなどで目印を付け、数日後に再び挑戦してみよう。

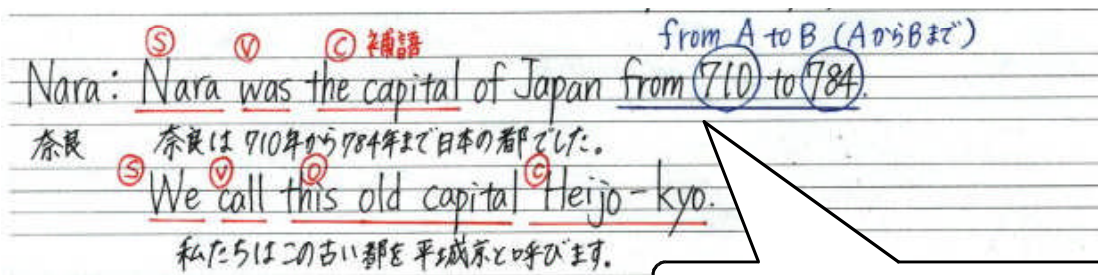
《こんな復習をすると力がつくよ》

◎地道な努力を積み重ねよう。

・ライティング・・・単語を何度も書いたり、基本文のポイントを押さえよう。



繰り返して練習したり、辞書を基に関連した単語を調べます。



from A to B (AからB) などの熟語や文法のポイントも押さえ、意味の固まりで押さえています。

- ・リスニング・・・英語の音楽を聴いたり、親子で英語を使って身の回りのものを言ったり聞いたりする機会を増やしましょう。
- ・スピーキング・・・何度も声に出して、スムーズに話せるように練習しよう。鏡の前で、自分の表情やジェスチャーなどを見てみよう。
- ・リーディング・・・教科書の単語や基本文など、暗記するくらいに読み込もう。日本語の意味も考えながら、読んでみよう。

- ・生活の中でも、英語に触れる機会を増やすことで、より身近に感じます。
- ・地道な復習を繰り返すことが、書く力の向上につながります。

発展編

- リスニング・・・ラジオ講座やTVでのニュース、音楽等、英語にたくさん触れよう。
- スピーキング・・・習った文型や熟語等を使って、ALTや家族など、周りの人に話しかけてみよう。
- リーディング・・・英語で書かれた新聞や絵本、身の回りにある英語での説明などを探して読んでみよう。
- ライティング・・・習った単語や基本文を使って、興味のあることや経験したことを英作文で書いてみよう。

《こんな工夫ができるといいね》

◎楽しかった思い出を新聞にまとめたり、日々の出来事を英作文で表したり、テーマを決めて伝えたいことを書いてみよう。

< 修学旅行の思い出 >



ポイント

絵を加えたり、デザインを工夫したりすることで、楽しみながら家庭学習に取り組んでいる姿も想像できます。

自分がしたこと、そこから感じたことを学習した表現を使って、書き表しています。

- ・自分からやってみようと思えるように、自分の好きなことなど、無理せず少しずつ身近なことから挑戦しましょう。子どもの自主的な取組や頑張りを褒めてあげてください。

保護者の皆様へ

家庭学習は、学校で学んだことを定着させるための大切な取り組みです。家庭学習が習慣化することにより、「自ら学び、伸びていく力」と「学びを楽しむ力」を育てていくことができます。

今年度は、できるだけ子ども自身で家庭学習が進められるようにするために、具体的な事例を載せた「家庭学習リーフレット 実践編」を作成しました。学習を進めるときのヒントにするとともにお子さんと一緒にできた喜びを感じ、我が子の成長を楽しんでいただけることを期待しています。

家庭学習のリーフレットをどのように利用しているのか教えてほしいという声がありますが、いかがですか。

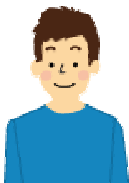


分からない問題は、すぐに友達や家族、先生に聞くように話しています。会話しながら問題をやると頭に入ります。

食事をしながら、時々子どもに問題を出したりしています。歴史上の人物や年号などの問題は親子で楽しめます。



問題集1ページをやる時間を決めて取り組んでいます。なるべく多くの問題にふれておくことで解ける問題数も多くなるようです。



親子で話し合って無理のない学習のスケジュールを立てました。部活で忙しい日も何とか机に向かうようになっています。時々、励ましながら確認をしています。

テストで間違えたところをきちんと分析するのは、苦手問題を減らすことへつながるようです。次のテストでがんばれるよう、家庭でも声をかけるよう意識しています。



テレビを見ながら、取り上げられている内容をどう思うか話しました。意外にきちんととらえているんだな・・・と驚きました。



1 年 組	名前	
2 年 組		
3 年 組		

自分の生活時間を見直してみましょう！

学習をいつするのか、「学校のある日」「土・日」「習い事のある日」などに分けて、1日の生活スケジュールの中で考えてみましょう。

年 組	名前	
-----	----	--

例：(学校のある日)

	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12 (時)
学習													読書		学習				
生活		起床	食事	登校									帰宅	テレビ	食事		入浴	就寝	

()

[illegible]

()

[illegible]

()

[illegible]